

## 第5回学校活性化勝浦郡地域協議会議事録

〔協議題〕報告書の取りまとめについて

委員

前回の協議会では、勝浦高校は分校として存続を図り、設置学科については農業科の2学科とし、その学科名は「応用生産科」と「園芸福祉科」(仮称)とすると決定していただきました。

また、両学科の教育内容や新しい教育を展開するにあたり、委員の皆様方よりご意見やご提案をいただいておりますが、事務局は、教育課程を組む段階、そして実際に教育を行っていく際には充分反映させていただきますようお願いいたします。

それでは協議に入ります。

勝浦高校は分校となりますが、その本校については、県教育委員会が決めることではあります。委員の皆さんのご意見等もお伺いさせていただきたいと思っております。

資料がなければご意見も出しにくいと思っておりますので、事務局より資料を提示していただいてもよろしいか。

(異議なしを受けて、資料を配付)

それでは、事務局より本校の案についてご説明をお願いします。

小松島高校、小松島西高校、城西高校の資料を提示〔事務局〕

委員

ただ今、3つの高校について検討資料が提示されました。

細部に渡り詳しくご説明がございましたが、皆様方からご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委員

勝浦高校を運営している私にとってみると、自分の学校が未来永劫残るとというのが一番の望みであり、継続・発展させていけることが最も大切であると考えます。その観点から申しますと、小松島西高校であれば、商業科、家庭科、福祉科とあって、4つ目に農業科があり、その場所がたまたま勝浦にあるというふうに考えれば、私がイメージする本校とは独立した教育を展開する勝浦キャンパスが実現しますし存在価値も高まるのではないかと考えます。

また、同窓会の方などとお話をしますと、かつて分校であった所に戻るというのは少し感情的に敬遠する所があるということも感じております。

委員

私の個人的な意見といたしましては、本校については、現場の先生の意見が一番だと思います。ただ、是非お願いしたいのは、3つの高校の良いところは取り入れてほしいと思います。例えば、小松島高校は普通科ですのでその進学体制を、また城西高校は農業科を設置する高校ですのでそのノウハウを、そうした良いところを勝浦の教育に取り入れていただければと思います。

## 委員

現場の先生の意見が一番であり，またそれぞれの高校の良いところを教育内容に取り入れてほしいとのことでした。

## 委員

3つの案とその主な理由も提示されていますので，勝浦高校のPTAとか，近隣の小・中学校のPTA，また生徒たちの意見を聞いてはどうですか。報告書では3校を書いておき，県教育委員会より説明をしていただいて，意見の多い高校にされるといえるのはどうでしょうか。

私などは子どもが高校に行っていないし，資料を今見せられても，どこの高校が良いとは判断しにくいものがあります。考え方も色々あると思いますので，ここで一つに絞らずに，PTAの方々に説明して集約することを検討してみたいかどうでしょうか。

## 事務局

地域協議会は，地域や保護者，そして学校の代表の方々に構成されております。代表者の集まりである地域協議会としては，どこの高校が適しているとの意見を集約していただきたいと考えております。

## 委員

私も小松島西高校に賛成です。自分が勝浦高校の教員だったとして，情報交換したり，子ども達を連れて行ったりという交流を考えるならば，資料の中にもありますが，教育内容など関連するところが多々あり，交通の利便性も非常によい小松島西高校がよいと思います。また，勝浦とすれば学科の独自性を出すこともできるのではないかと考えます。

## 委員

個性が引き合うという点で言えば，小松島西高校が一番面白いと思います。ただ，小松島高校であれば普通科というイメージが強くなるので保護者の要望としては多いと思います。また城西高校は，同じ農業科なので傘下に入るとの感覚があり，好まないのではないかと思います。

3つのどの高校にもそれぞれの良さがあり，決めるのは非常に難しいことですが，ただ，私の考え方というか立場から言えば，本校という意識ではなく，町村合併も同じで，どこと引っ付くかということと同じことだと思えます。そして，どこと引っ付くにしろ，引っ付くにはそこに何かキラリと光るものを持っているということが大事であって，勝浦にも本校に負けないだけの魅力があることが大事だと思えます。

そういう意味で，どこに引っ付くにしろ，今回の方針の中では，あまり大きなことはできないと思うので，本当に1点か2点のキラリと光るもの，これだと思わせる何かを作ることが一番大事なことはないかと思えます。学校として自慢ができること，地域の人があな高校は自慢だと誇りに思えること，そして生徒も集まって来るなど，地域や周りの人に”良い学校”と言ってもらえるような中身を持つことが大事であると思えます。何とか2，3年の間に，周りにオヤッとさせるような何かを作りたいというのが私の願いです。

## 事務局

考え方として，まず勝浦に教育の中身があって，その教育の中身に対してどこの高校が良いのかということになるかと思えます。勝浦の新しい教育では，生産から流通・販売までの一連のことを学習するとしておりますが，小松島西高校の学科であれば，実現する可能性が高いと考えられます。例えば，農業科の勝浦で材料を調達し，それを小松島西高校の商業の分野で陳列や広報などを

通して商品価値を高める工夫をしていくというように一連のことが1つの学校の中でできることとなり、互いの教育内容も相乗的に高まっていくと思います。これは、勝浦サイドから見た考え方ではありませんが参考になればと思います。

#### 委員

シューマッハーという経済学者が連関効果（前方連関，後方連関）の大切さを唱えています。連関効果を通して付加価値の高いものを作り上げていくことが大切だと思います。例えば、原産のみかんを出荷するだけではあまり効果がないのですが、みかんを何か加工し付加価値を高めて製品にしていく。さらには製品袋を作るなど、こうした連関活動が、地域の経済を豊かにするという話を聞いたことがあります。

農業は近代化の中で、瀕死の状態になってきているのですが、逆に付加価値の高いものを生産していけば、何とか風が吹き出すというような最近の流れの中で、安全・安心な、そして付加価値の高い良いものを作るという連関活動の視点からすれば、最終的には先生方や、県教育委員会にお任せしたほうが良いのではないかと思います。

#### 委員

先程、他の委員が言われたように、多くの学科がある中でその一つの学科が勝浦にあると考えるのであれば、小松島西高校という選択肢が良いのではないかと思います。いずれにせよ、子ども達が誇りを持って行ける学校であってほしいと思います。

#### 委員

ありがとうございました。

委員の皆様の意見をお聞きしたわけですが、大部分の方が小松島西高校という意見であったと思います。

それでは、地域協議会の総意として、小松島西高校を本校とするということによりましょう。

#### 委員

ちょっと違和感があるのですが、この場では、本校・分校の話はしないということであったと思います。参考として委員の皆さんのご意見を聞いていただくのはかまいませんが、今の話を踏まえて県教育委員会の方で決めていただけたらと思います。

#### 事務局

協議に入る際、会長の発言にもありましたように、本校は県教育委員会で決定することになります。しかし決定するにあたって、この地域協議会の意見もお聞きし、参考にさせていただきたいと思っております。最終的には、県教育委員会が、責任を持って決定いたします。

#### 委員

この件につきましては、これで終わらせていただきます。

次に、勝浦高校の再編時期についてどのように考えているのか、事務局よりご説明をお願いします。

#### 事務局

再編の時期についてのお尋ねですが、これにつきましては、いくつか考えなければならぬことがございます。

先ず，平成20年度入学生については，分校となることについて事前の周知ができておりませんので，勝浦高校の生徒として入学，そして卒業するということとなります。

平成21年度の入学生につきましては，事前に周知することは可能ですが，実際にはこれだけではなく，広報の期間が必要なこと，また，新学科開設に向けて教育課程の編成などの諸準備も必要となっておりまいますので，ここで具体的に何年度からということをお願いすることは非常に難しいということをご理解いただきたいと思います。

時期の明示は難しいのですが，できるだけ早くなどのご要望がありましたら，その方向で検討したいと思っておりますので，ご意見がありましたらよろしくお願いいたします。

#### 委員

再編にはいくつかの諸準備が必要であり，再編年度を明確にするのは難しいとのことですが，時期について早くなどのご意見はございますか。

#### 委員

時期は遅くてもよいのではないかと思います。この地域協議会の報告書とは別に，学科やその教育内容等について，徳島市や小松島市から来ているPTAの方々にも，県教育委員会で説明会を開いて意見を聞く機会を設ける必要があるのではないかと思います。PTAあつての学校かと思っております。

#### 事務局

先程，申し上げましたが，再編には十分な広報期間と新学科に向けて教育課程などの諸準備も必要と考えております。そうしたことをきっちり行った上で，できるだけ早期にということをごさいますして，諸準備ができないままに，早期に新学科を開設するということではございません。

また，報告書の提出後，PTAなどのご意見もお聞きする必要があるのではないかとごさいます。報告書をいただきましたら，県教育委員会の方で，そのご意見を参考にして計画案を作成いたします。その後，計画案についてパブリックコメントを実施し，地域の方々はもちろんのこと，県民の方々からも広くご意見をいただくこととしております。

#### 委員

初歩的な質問で申し訳ありませんが，今，勝浦高校の定員は60名ということですが，21年度の定員も今のままでいくのですか。

#### 県教育委員会

平成20年度の募集定員は，普通科が40名，園芸科が20名の合計60名となっております。ただ募集定員については，どこの地域も同じですが，地域の生徒数の変化，志望状況等を勘案し毎年検討しております。

そこで，計画がまとまるまでは，現在の普通科・園芸科を継続しますが，募集定員が60名になるかについては，その時の地域の生徒数や志望状況等を見ないとわかりませんので，今この場でご返事することは難しいこととなります。

例えば，今年度ですが，勝浦高校の募集定員は前年度と変わっておりませんが，特に県西部では生徒数が激減しまして，各校とも15名から20名の減となっております。

#### 委員

状況によって，そんなに変化しているのですか。

県教育委員会

そうしないと、いくら定員を構えても地域に生徒がいなかったり希望がなければ、大きな欠員が生じることになります。

毎年のことですが、進学希望調査を実施し、地域の生徒数の推移も見まして、それを反映させた形で募集定員を決めております。

委員

ということは、状況によっては、来年度、募集定員が一気に減少するということもあり得るということですね。

県教育委員会

激減はできるだけ避けたいと思っておりますが、必ずしも減少しないかというところ、そうとは言い切れません。

委員

そうした状況もありますので、高校側の動きとしては、9月以降に他の高校と合同で中学校主催の説明会に参加させていただいております。また夏休み以降、職員で手分けして、個別に中学校を訪問いたしました。その時、非常に苦しかったのは、勝浦の方向性がまだ決まらない状態でありましたので、はっきりとしたことが言えず、保護者の方から質問を受けても満足してもらえないような回答ができなかったことです。

できましたら今年は、こういう未来があるんだ、こういう図面を書いているんだ、是非来て欲しいというのを持たせていただけると、精一杯、勝浦の魅力をアピールしてこようと思います。その意味で、できるだけ早く再編をお願いし、県民の方々に勝浦の未来像をアピールさせて欲しいと思っております。

委員

先程、別の委員が言われた時期は遅くとのご意見とは違うようですが。

委員

基本的には同じかと思えます。

最近は中学校の説明会に行きましても、早くからの意識付けでしょうか、2年生の保護者の方もたくさんおられます。去年その場で多かったのは、勝浦高校はどうなるのかという質問でございまして、その質問に対して、勝浦はこういう教育をやっていきますと言えず、非常に苦しい状況でございました。

委員

それでは、できるだけ早期に再編するというところでよろしいでしょうか。

委員

今の話でも、1・2年生の保護者も進学には関心があるようですから、PTAの方に説明し、意見を聞いてから、方向を決めていくというのが大事だと思います。

実際に保護者の方に説明し意見を聞くというのは大事なことであり、また説明には時間を要すると思えます。この地域協議会も2年間で5回しか開催できておりませんし、県教育委員会は、説明会を開いて保護者の意見を聞くことが大事でないかと思えます。

## 県教育委員会

以前は、学科を再編する際には、県教育委員会の方でこういう方向で行きま  
すという形でおこなっておりました。しかし最近では、新しい教育を行うに当た  
っては、地域の声を伺いながら進めており、この地域協議会も地域の声をでき  
るだけ反映した形で案を作成するために設置しております。ここでいただいた  
ご意見を参考にしながら、県教育委員会としては計画案をお示し、パブリック  
コメント等で意見を広くいただいて計画を作ります。その計画につきまして、  
今後、学校が中心となって地域にまいり、中学校や地域のPTAに説明するこ  
とになるかと思っております。そういった形でご意見を反映しながら進めていくこ  
とになると思っております。

くり返しになりますが、県教育委員会が独自に考えた案をお示しするのでは  
なく、地域の声をいただいてそれで計画案を作り、パブリックコメントをいた  
だくという手順でやっておりますので、ご理解をいただけたらと思っております。

## 委員

勝浦町民の声を聞くということで、勝浦高校の体育館で説明会を開き、県教  
育委員会の方から、勝浦高校は分校化した方が良いとの提言がなされたとのご  
説明を受けたと思っております。そうした経緯からすれば、今回も県教育委員会から  
地元に対して、こうなりましたとの説明会をしていただきたいと思います。

また、これまで5回の協議会を開く中で、地域とかPTA関係の方のご意見  
を聞く機会がなかったと思っております。私は、ご意見は聞いた方が良いと思ってい  
ますし、少なくとも勝浦高校のPTAには、計画案を提示していただきたいと思います。  
そうしないと、パブリックコメントという形ではご意見はなかなか出てきにく  
いと思っております。

## 委員

計画を作成する前にパブリックコメントを実施するとのことなのですが、  
計画案については、多くの質問もあると思っておりますし、県教育委員会でないと回  
答するのは難しいと思っております。ですから、説明会は最低1回は持っていただ  
きたいと思っております。

## 県教育委員会

地域協議会の委員の方々は、それぞれの再編対象になっております高校長は  
当然のこととして、小・中学校の保護者の方、或いは小・中学校の校長先生の  
代表の方、そして地元の教育委員会の方、地元の代表者の方、学識経験者の方  
に入ってきていただいて、知恵を頂戴しているところです。従いまして、この地域  
協議会の協議内容は、地域の知恵を集約した形であるとの位置づけで考えてお  
ります。その地域協議会から提出された報告書を受け、県教育委員会で計画案  
を策定し、それに対して勝浦地域だけでなく、広く県民の方からパブリックコ  
メントでご意見をいただいて、それを反映させる形で最終的な計画を作ってい  
きたいと考えております。計画ができますと、当然、広報のために、それぞれ  
の地域、中学校に行き説明をしていくことになると思っております。計画の策定ま  
ではそういう手順で行きたいと思っておりますので、ご理解をお願いします。

## 委員

地元の生徒が少ないということは、他地域から来ているということなので、  
その人の意見も聞いてから計画を作りたいということなのです。

## 県教育委員会

それを言い出しますと、各地域ともに、大体は地元の生徒が中心ですが、JR沿線から広く生徒が通っておれば、そうした地域まで全部出向いて行き、ご意見を聞くのかということになります。そうではなくて、勝浦高校は、地元の高校として教育をしていただきますし、地域連携などご協力いただくのは高校周辺の勝浦郡の方々でありますので、地域協議会につきましては地元の方々で構成をし、そこからご意見をいただいているところです。

## 委員

一口に地域の声と言っても、不特定の意見を集めるのは難しいし、農業については徳島市に聞いてもらっても困るわけです。農業は、場所が大事であって、勝浦の地域を生かせるのが農業であり、そうした地域の存在価値というか、特色を生かしていかなければならないと思います。

地域の広域化が進む中、地域の声といっても、我々人間は推測する力がありますので、ある程度未来の地域の人々の声、あるいは他所からの声も想像しながら、大きな対流を掴むことが大切であると思います。だれ彼でも聞いたら良いというものでもありません。

## 委員

地域の問題ということで、事務局には広報等を通じてお知らせするという方法でお願いしたいと思います。

続きまして「報告書案」について事務局よりご説明をお願いします。

### 「報告書案」について説明〔事務局〕

## 委員

報告書案につきまして、ご意見・ご質問をお受けしたいと思います。

## 委員

本校・分校の話はしないとのことでありましたのに、「はじめに」と「おわりに」の部分からは、さもこの地域協議会で協議したかのような感じを受けます。素直に「高校再編方針に基づき、勝浦の高校として...」というサラッとした言葉でどうですか。

## 県教育委員会

それでは、「はじめに」にある「本協議会では、今後は分校として存続を図り、引き続き.....」とありますが、ここを「今後とも引き続き.....」とし、「分校として存続を図り」の文言を削除いたします。

それから「おわりに」にある「高校再編方針を踏まえ、分校としての農業教育を基本に.....」を「高校再編方針を踏まえ、農業教育を基本に.....」とし、「分校として」を削除いたします。

## 委員

「おわりに」に、「一部委員から、本校としての存続を望む意見も出されたが、.....」というのがありますが。

## 県教育委員会

折角、委員の方が発言されたのに、ご意見が何もなかったかのように聞こえるのもいけないと思ひまして、書き込んだところです。

委員

「一部委員から」との文言を取っていただけたらと思います。

委員

他にありませんか。

委員

「はじめに」の中で、「今後は分校として存続を図り」の部分を、「高校再編方針で分校化と農業2学科の決定は変更出来ない中で、今後」としていただきたいと思います。また「おわりに」の中に、PTAや地域の方々に説明するとの内容を入れていただきたいと思います。

県教育委員会

高校再編方針では、農業教育を基本に分校として存続を図るとなっており、2学科ということが決まっていたわけではありません。

委員

委員の皆様、いかがいたしましょうか。

委員

先程、他の委員が、すっきりとした形にということでおっしゃられましたように、思いを残したいという気持ちもあるかと思いますが、逆に集約した形で出した方が県民の方にはお分かりいただきやすいと思いますので、事務局案の方が良いと思います。

委員

今、すっきりした形でとのご意見がありましたので、そのようにさせていただきます。

他にご意見はありませんか。

委員

「今後の取り組み」のところですが、新学科をつくりますので、「新しい教育に必要な施設整備」を付け加えていただきたいと思います。

委員

何箇所か訂正する箇所、削除する箇所等がございましたが、その他に文書については、すっきりした形でいきたいと思います。

それでは、事務局案に、ただ今の修正を加えたものを報告書案としてよろしいでしょうか。

委員

私も、表現は簡潔型が良いと思います。

企業的な立場から言えば、この報告書がただの紙だけで終わるか終わらないかの方が大事であって、これを作って、ただの紙で終わらないための、手段がすごく大事だと思います。

そのためには、大切なことが3つあると思います。

まず、1つは十分な期間が必要ということです。1つの事業を成し遂げるには、1年や2年では絶対に無理です。最低でも3年、普通は5年ぐらいかかると思います。会社や町もそうですが、トップの意思ですべてが決まりますので、目的を達成するためには、5年ぐらいは一人のリーダーでそれを目指していくことが必要だと思います。



2つ目は、内容が多すぎますので、1つか2つに絞ることが必要です。それを何にするかはトップの人と現場の人で決めてください。広く浅くではだめで、これだけは絶対負けない部分を作ってください。

それから3つ目は、外部との交流をもっとしっかりやるべきだと思います。例えば講演会が上勝町や勝浦町であったら生徒に講演会を聞かせる、あるいは小・中学校との交流、またホームページを通じてなど、外部の人とのつながりの部分を教育の中に多く取り入れて、生徒たちが気が付かないことを教えたり学んだりすることが大切です。

大事なものは、文言ではなく、成功するかしないかです。上勝町と勝浦町の保護者が、「勝浦高校に行かせたい」と語れるかどうかだと思います。地元の人が行かせたくないということは、他所からは来ないということです。地元の親が行かせたいという形をつくり上げて行くことが、存続できるかできないかの、最後の分岐点なんだと思います。そのためには、学校と地域が一体になって頑張っていかなければならない。地域の人が他所を向いているのでは話にならないと思います。

委員

これからが大事であって、文言については簡潔型でよいとのことですね。

修正箇所の確認〔事務局〕

委員

それでは、事務局案に、今の修正を加えたものを報告書案ということでご承認をお願いしたいと思います。

(異議なし)

委員

ありがとうございました。

続いて、報告書の提出の方法ですが、会長である私の方から県教育委員会に提出するというところでよろしいか。

(異議なし)

それでは、そうさせていただきます。

ところで、県教育委員会にお尋ねしますが、報告書が提出された後、どのように進めていくのですか。

県教育委員会

今後の進め方につきましては、先程から申し上げておりますが、報告書のご提出を受けまして、県教育委員会として計画案を作成いたします。その後、パブリックコメントを実施して、広くご意見を募集し、いただきましたご意見も参考にしながら、計画を策定した後、教育課程など具体的に検討に入りたいと考えております。

委員

ただ今のご説明について、ご質問等ありましたら、お願いいたします。

委員

先程も出た話ですがPTAの方々への説明会は開かないということですか。

## 県教育委員会

どこの地域協議会でもそうですが、地域協議会の委員には、PTAの方、地域の方、同窓会関係者、そして高校長にも入っていただいております。そこでいただいた知恵を基に報告書が出てきておりますので、県教育委員会としてはそれを尊重するような形で計画案を作成することとしております。必要があれば、再編対象校の方からPTAや同窓会などにご説明していただければと思います。県教育委員会の方では、計画案を広く県民の方にパブリックコメントという手法でご意見をいただくこととしておりますので、ご意見があればパブリックコメントの方に出していただけたらと考えております。

## 委員

今後の進め方については、以上のような形で承認したいと思います。

それでは本日を持ちまして、本協議会は任務を終了することといたします。